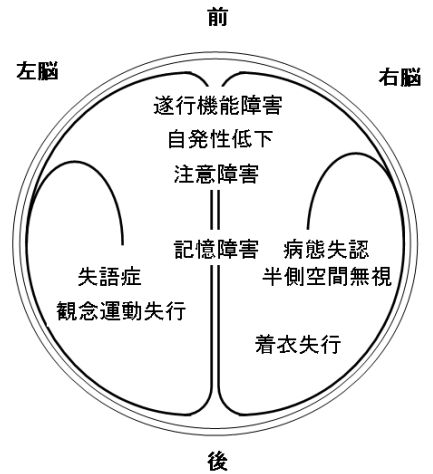


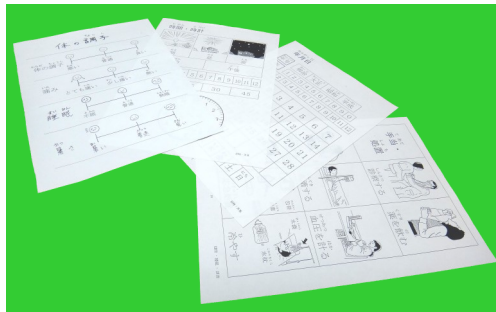
リハビリ通信

トピックス

今回は、言語聴覚士(ST)の役割について、ご紹介します。
 当院では、高次脳機能障害の治療にも力を入れています。
 高次脳機能障害というご病気をご存知でしょうか？
 脳には多くの機能があり、脳の各場所に障害を受けることで、図のような症状が起こりやすくなります。
 高次脳機能障害とは、このような症状の総称です。主に、脳血管疾患(脳梗塞・脳出血・くも膜下出血など)・頭部外傷などが原因となります。
 高次脳機能障害の1つに失語症があります。失語症とは、「話すこと」「理解すること」などが難しくなる症状を言います。伝えたいことが伝えられなくなり、患者様には大きなストレスとなります。言語聴覚療法では、絵や文字などを使用し、患者様に合ったコミュニケーション手段を考え、患者様が自分の伝えたいことを伝えられるように、訓練を行っていきます。



↑写真カード。写真の名前を言ったり名前を聞いて正確に指でさしてもらい訓練に使用します。



↑コミュニケーションノート。話せない患者様に指でさしてもらい、意思を聞きます。

退院後の社会復帰のため、8名の言語聴覚士が、急性期～在宅まで、退院後の患者様の日常で必要なコミュニケーション・日常生活ができるための支援をさせて頂いています。これまで、多くの患者様が、退院後に笑顔を取り戻し、生き生きとして在宅生活に戻られる場面を見ってきました。今後も、多くの患者様が笑顔を取り戻せるようリハビリテーション課一同、取り組んでいきたいと思っています。

回復期リハビリテーション病棟 成績

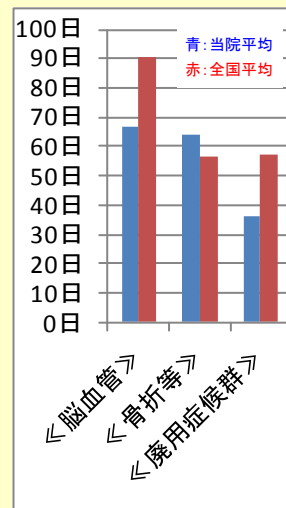
(平成24年4月～6月【全入院患者さん平均】)

	当院平均	全国平均
自宅退院率	88.7%	69.7%
FIM(機能的自立度評価)※		
入院時	65.3点	72.6点
退院時	82.6点	88.4点
改善点	17.3点	15.8点

※ FIM: 点数が低いほど、生活上の介助が必要なことを示します。

全国平均を上回る改善を示し、約9割の方が自宅退院されています。

疾患別平均在院日数



疾患割合

